

科目名	運動学					
分野	専門基礎分野	担当教員	小林 千紘			
開講時期	2学年 3学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30		2			
科目の概要	柔道整復師として必要な運動に関わる構造と機能について基本的な知識を習得し、運動発達、運動学習の過程について一連の知識、正常または異常な運動行動の成因について理解する。					
学習の到達目標	1.運動の表し方・運動面と運動軸について説明できる。 2.身体運動に作用する力に関して説明できる。 3.姿勢について人体の重心の位置について説明できる。 4.歩行について一連の流れ、またその異常について説明できる。 5.運動発達の段階について説明できる。 6.運動学習の過程においての一連の事柄について説明できる。					
成績評価の方法と基準	試験を実施し、60点以上を合格とする。					
使用テキスト	「運動学」改訂第3版:全国柔道整復師学校協会監修、齋藤 宏著、医歯薬出版					
参考文献	基礎運動学第6版 中村隆一・齋藤宏・長崎浩著、医歯薬出版					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	運動器の構造と機能(骨の構造と機能・運動の表し方)					
2	姿勢(姿勢の分類・重心・立位姿勢・立位姿勢の制御)					
3	運動学習(学習・運動技能と運動能力・運動技能学習の過程・学習曲線)					
4	運動学習(動機づけ・学習の転移・記憶)					
5	運動発達(乳幼児期の運動発達)					
6	歩行(歩行周期・歩行の運動学的分析・歩行の運動力学的分析)					
7	歩行(歩行時の筋活動・歩行のエネルギー代謝・異常歩行)					
8	反射運動と随意運動(神経の構造と機能)					
9	反射運動と随意運動(運動感覚・反射・随意運動)					
10	身体運動と力学(身体運動に関与する力・人体における単一構造)					
11	身体運動と力学(運動の法則・仕事と力学的エネルギー)					
12	運動器の構造と機能(関節・筋収縮)					
13	四肢と体幹の運動(上肢・下肢)					
14	四肢と体幹の運動(体幹)					
15	総合評価(まとめ)					

(2026年度)